



<西原営業所>
沖縄県西原町字小那覇1457番地1

Step 1
廃石膏ボードの
受入れ



施設に運ばれてきた廃石膏ボードは、この手順書によって管理されています。

沖縄県

訪問日：2017年12月4日（月）

にしかわの
工場見学
株式会社オキセイ産業

資源循環型社会を創造。
一般社団法人 泥土リサイクル協会
<http://www.deido-recycling.jp>
〒492-8266 愛知県稲沢市横地町12
TEL：0587-23-2713 FAX:0587-23-2734

今回は、H29年度環境研究総合推進費において受託した「廃石膏ボードリサイクルの品質管理のあり方と社会実装」の研究テーマの1つである、廃石膏ボードのマテリアルフローを調査するために、株式会社オキセイ産業様の処理施設を見学させていただきました。



Step 2
分別・不純物除去



受入れた廃石膏ボードの中には上の写真のようにタッカー等が付着した状態のものもあり、手作業で除去を行っている。



吸湿板付のボードも目立つ

Step 3
破碎・分離



破碎分別機によって、紙と石膏粉に分離し、粒度調整等を行います。（処理能力：約1.78 t/h）

Step 4 保管



出来上がった製品はトンパックで袋詰めされ、写真のように屋根付きの保管場所で、再生石膏粉が地面からの湿気を防止するためにパレットを敷いて保管されている。



その他



松原社長、瀬長専務に施設内を案内していただきました。

廃石膏ボードには不純物が含まれているものもあり、受入れる際には気をつけなければいけません。こちらの施設では、吸湿板やタッカーは人の手によって一つずつ除去作業が行われていました。

また、受入れ基準も手順書により適正に管理がされていました。

いままでご苦労されたお話や会社の取り組みなどを松原社長、瀬長専務からお聞きして、実際に施設内を見せて頂きました。オキセイ産業様は廃石膏ボードの受入から保管、出荷までしっかりと管理されており、質のよい再生石膏粉が製造されている印象でした。

松原社長、瀬長専務、お忙しい中施設内をご案内していただきありがとうございました。

西川

